

「賄う」の意味

上 條 厚

キーワード：「賄う」、意味、必要、使用

要旨

国語辞典の中には「賄う」の意味を、「限られた物資・費用などで何とか間に合わせる」として
いるものがあるが、それには疑問がある。「賄う」の用例を見て検討した。その意味は「必要な
ものを使える状態に用意した上で使用に供する」ことである。「賄う」の意味をこう考えれば、現代
語における用例をすべて説明できる。日本語—外国語の辞書の記述にも不十分なものが見られる。

1. はじめに

ことばの意味を調べたり、それを人に説明したりしようとするとき、既存の辞書が頼り
になることは言うまでもないことであるが、辞書の記述が不十分であったり、不正確であ
ることもある。そういう場合には自分でその語の説明を考える必要がある。

外国人留学生の日本語の授業を担当していると、そういうことがよく起こって来る。わ
たしが教材として選んで使った文の中にも、ある辞書の記述では具合が悪く、それでは意
味の説明ができないものが出て来た。「賄う」がそれであるが、辞書を見て疑問に思うこ
とがあった。以下、「賄う」の意味について考える。

2. 国語辞典の記述

最初に「賄う」についての国語辞典の記述を見る。代表的な辞書を取り上げる。以下の
(イ)(ロ)は超大型の辞書、(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)は大型、(チ)(リ)は中型の
ものである。辞書に登場する特別の記号などは、適宜置き換えて載せる。記述の中の旧字体
は新字体に改めてある。

『日本国語大辞典』第二版(小学館 2000年～2002年)……(イ)

①用意をととのえる。支度する。準備する。まち設ける。〈古文の用例、略〉②食事な
どをととのえて与える。饗応する。〈古文の用例、略〉③とりはからって必要な用を果
たす。ある範囲の物事をとりしきる。〈古文の用例、略〉〈以下、方言・語源等の説明、
略〉

『大辞典』(平凡社 1934年～1936年)・・・(ロ)

(一) とり調べて供へる。ととのへる。したたむ。〈古文の用例、略〉(二) 設けて待つ。あつかふ。あてがふ。擬す。〈古文の用例、略〉(三) 用度の物を給す。供給す。支給す。「万事本家がまかなふ」「衣食をまかなふ」(四) 転じて饗応す。食事を調べ給す。賄ふ。馳走す。〈古文の用例、略〉(五) 取りはからふ。間に合はす。処置す。取りつくらふ。〈古文の用例、略〉

『広辞苑』第五版(岩波書店 1998年)・・・(ハ)

①ととのえて供する。〈古文の用例、略〉②食事をととのえて出す。〈古文の用例、略〉「三食とも下宿で一・ってくれる」③取りはからう。処置する。やりくりする。〈古文の用例、略〉④(費用・物資などを)供給する。調達する。〈古文の用例、略〉「寄付で会費を一・う」

『大辞林』第二版(三省堂 1995年)・・・(ニ)

①食事を調べて出す。「昼食を一・う」②費用・物資・人手などを供給して必要を満たす。また、限られた範囲内で処置する。「需要を一・う」「三千円の会費で一・う」③支度する。準備する。調える。〈古文の用例、略〉④とりはからう。とりしきる。〈古文の用例、略〉

『カラー版日本語大辞典』第二版(講談社 1995年)・・・(ホ)

①食事をつくって出す。serve meals; board [用例]下宿人の食事を一。②限られた資金・人手で用を達する。間に合わせる。cover; pay [用例]月々二万円で一。税金で一。

『学研国語大辞典』第二版(学習研究社 1989年)・・・(ヘ)

①[限られた範囲内の物資・費用・人手などで]用を便じて処置する。ととのえて供給する。間に合わせる。きりもりする。「この五分の水をもってその池探りの水田全部を一・わねばならぬ〈島木・生活の・・・〉」「月々の生活費や女中たちの給金まで、当分の間真谷家が一・うことになっていた〈有吉・紀ノ川〉」②食事を用意して与える。「留守隊を一・うだけの食糧を持って帰って来るのである〈大岡・野火〉

『国語大辞典』(小学館 1981年)・・・(ト)

①用意をととのえる。支度する。準備する。〈古文の用例、略〉②食事などをととのえて与える。饗応する。〈古文の用例、略〉③とりはからう。とりしきる。〈古文の用例、略〉④供給する。間に合わせる。「月々三万円で賄う」

『明鏡国語辞典』(大修館書店 2002年)・・・(チ)

①食事をととのえて出す。「朝食と夕食は宿で一」②限られた人員・物資・費用などで何とか用を足す。間に合わせる。やりくりする。切り盛りする。「トウモロコシで食糧を一」「寄付で経費を一」「アルバイトをして学費を一」

『現代国語例解辞典』第二版(小学館 1997年)・・・(リ)

①食事をととのえて与える。「寮の食事を賄う」②やりくりして間に合わせる「月々三万円で賄う」「税金で賄う」

これらを見るといづれもが、いろいろ表現の違いはあるが、「食事を調べて出す」という意味を載せている。これは「賄う」が元来持っている意味であり、当然あるべき記載である。問題はそれ以外のところにある。

「食事を調べて出す」以外として、「限られた物資・費用などで何とか間に合わせる」という意味を、これも表現の違いはあるが、(ニ)(ホ)(へ)(チ)(リ)が載せている。その中で(ニ)を除いた(ホ)(へ)(チ)(リ)は、「食事を調べて出す」のほかには、この意味のみを載せている。この「限られた物資・費用などで何とか間に合わせる」という説明は妥当であろうか。

3. 辞書の記述への疑問

外国人留学生のための日本語読解授業の教材としてわたしが選んで使ったものの中に、次の文が出て来た。

1) 農家の水道代は政府の補助金で賄われている。(『言挙げせよ日本——欧米追従は敗者への道』松原久子 プレジデント社 2002年)

この文の内容は、米国でのことであるが、水道代を政府が負担してくれていて、それで払っているということである。ここでは農家は水道代を「何とか間に合わせ」で払っているわけではない。そのためのお金には困っていないのである。上記の辞書の説明のような「限られた物資・費用などで何とか間に合わせる」というような意味は、この文には全然ない。

次にほかの用例を見て考える。以下、官公庁の文書を多く引用する。「賄う」は費用に関して使われることが多い。1)もそうであるが、次に挙げるのもその例である。

2) 本補助金が税金で賄われていることにも十分留意することが必要です。(『大学改革推進等補助金Q & A』文部科学省 2004年)

3) 国の予算額は1億8,000万円でございます。ただ、これだけで国民文化祭が賄われる

わけではなく……（『文科審議会文化政策部会（第8回）議事録』文化庁 2004年）

4) それを全部税金で賄うのか、個人負担を求めるのかという……（同上）

5) 教育の公益性は理解するがその公益実現のための費用は公的資金によって賄われるべきであって……（『文化審議会著作権分科会審議経過の概要』文化庁 2001年）

これらの「賄う」には「何とか間に合わせる」というような意味があるだろうか。税金等でお金を用意して、それを払うべきものに充てるということを言っているが、ただそれと言っているだけである。金がないところを何とかして無理をしてその金を用意しているというような意味はない。

4. 辞書の説明の検討

では、上記の辞書で「何とか間に合わせる」という意味の用例として挙げられているものには、そういう意味があるのかどうか、次に検討しよう。上記の例文を、省略記号を書き直して示す。

まず次の例文から。

6) 需要を賄う。(ニ)

7) 税金で賄う。(ホ)(リ)

これらは短い文でただ述べているだけあり、これだけでは意味の検討には使えない。

8) 三千円の会費で賄う。(ニ)

9) 月々二万円で賄う。(ホ)

10) 月々三万円で賄う。(リ)

これらは、この金額を何かに充てるということを言っているが、それだけである。この文そのものに「何とか間に合わせる」という意味はない。少ない費用で何とかするという気持ちでこのように言うとしても、それはその人の気持ちであって、この文にそういう意味があるわけではない。

11) この五分の水をもってその池探りの水田全部を賄わねばならぬ。(へ)

この文は、この少ない水で「何とか間に合わせ」なければならないということ言っている。しかし「何とか間に合わせ」なければならないことは、水が少ないという状況から出て来るのであって、「賄う」によってその意味が出て来るわけではない。「賄う」を使わなくてもそういう意味を表せる。この文を別の動詞で言い換えて、「この五分の水をその池探りの水田全部の水に充てなければならない」「この五分の水をその池探りの水田全部の水として使わなければならない」のように言っても、同じ意味である。「充てる」「使う」には「何とか間に合わせる」という意味はない。「賄う」もそれと同様である。

12) 月々の生活費や女中たちの給金まで、当分の間真谷家が賄うことになっていた。(へ)

この文はただ金を負担するということを行っているのであり、「何とか間に合わせる」という意味で言っているのではない。

13) トウモロコシで食糧を賄う。(チ)

14) 寄付で経費を賄う。(チ)

15) アルバイトをして学費を賄う。(チ)

これらの文には何とかするという意味が含まれているが、11)と同様、それは文の内容から出て来るのであり、「賄う」に何とかするという意味がなくてもそうなる。

次に挙げるのは別の資料からの例であるが、これらも同様に考えられる。

16) 一家七人の生活を、父の働きで賄わなければなりません。(『国語基本用例辞典』教育社 1986年)

17) うちの子には、ほしい物は自分の小遣いで賄うようにさせています。(同上)

これらの文にも何とかするという意味が含まれているが、「賄う」にそういう意味がなくてもそうなる。

5. 適切な意味記述を考える

以上見たように、「賄う」には「限られた物資・費用などで何とか間に合わせる」という意味はないと言うことができる。では「賄う」はどういう意味だと言ったらよいか。別の例文を見て考える。なおここでは現代語の範囲内のみで考える。以下の例文で出典の記入がないものは、出典亡失あるいは不明のもの、または自作の例文である。

5. 1 例文

「賄う」は費用のほかには、電気・水道・ガス・エネルギー・食糧など、消費するものについて使われることが多い。

18) 2020年までに世界の全電力の12%を賄うと期待される風力発電技術(『風力発電施設設置のあり方に関する検討会(第1回)資料』環境省 2003年)

19) 普段私達が使っている電気の3割以上が、現在原子力発電で賄われています。(『放射性廃棄物シンポジウム』文部科学省 1999年)

20) これまで実施してきたダム等による水資源開発は、都市用水の半分を賄うなど……(『水マネジメント懇談会の設置について』国土交通省 2003年)

21) 同時に急増する水需要を賄うためのダム等による水資源開発が行われた結果……

(『21世紀の社会を展望した今後の河川整備の基本的方向について』国土交通省1996年)

22) 当社がこの地方約2万世帯分の都市ガスを賄っております。

23) 世界人口120億人のエネルギー需要を賄うには限度があり……

- 24) 日本の国民の食肉の消費量の43%が豚肉なのです。そのうち、53%を国内の方で賄っているわけです。(『第1回養豚問題懇談会議事録』農林水産省 2004年)
- 25) 関東近郊や長野県産が品薄になる冬場(12月～3月)に、約30%近くのシェアを占めており、東京市場の需要を賄っている。

ここで注意しておくことがある。

- 26) 政府は必要金額を全部税金で賄う。
- 27) わが家は自家太陽発電で必要電力の3分の2を賄う。
- 28) 当社は地下水で工業用水のすべてを賄う。

このように言った場合には、主語が金銭・電気・水の利用者である。

- 29) 電力会社が都市の電力を賄う。
- 30) ダムが住民の水を賄う。
- 31) 政府が緊急輸入を行って国民の食糧を賄う。

このように言った場合には、主語は利用者ではなくて別の人であり、これらのものを人の使用に供しているのである。このように自分が使う場合と、他の人の使用に供する場合と両方あるわけである。

「賄う」は材料に関しても使われる。

- 32) ただ、この供給量が国内での木材の利用量すべてを賄える状態にはないということがございますので……(『第5回国土利用計画委員会(報告書)』国土交通省 2004年)
- 33) 原材料の70～80%を自地域で賄う。
- 34) 文化祭の食事の材料を地域の食材で賄う。

労働力・作業手段にかかわることでも使われる。

- 35) 経営体の構成員で労働力をほぼ賄うことが可能となっている一方で……(『国営諫早湾干拓事業の実施について』会計検査院 2002年)
- 36) その作業には多数の労力が必要であり、それを賄うNPOのネットワークが必要である。(『第4回寝屋川流域水循環系再生構想検討委員会議事要旨』国土交通省 2004年)
- 37) この作業はマルハナバチ1～2群で賄える。(『日本におけるマルハナバチ利用の現状』環境省 2004年)

「賄う」はほかに、人間生活にかかわること全般で使われる。

- 38) 日本船だけでは引受貨物の輸送を賄いききれず……(『昭和40年運輸白書』)
- 39) 各地方都市の病院だけでは、財政的にも都市圏のような高度医療施設の機能を、一つの病院で賄うことは不可能。(『2004道路整備効果事例集』国土交通省 2004年)

- 40) 地域の自立のために必要な機能をすべてその地域で賄えない中…… (『ほどよいまちが創る「いくつもの日本」』国土交通省 2003年)
- 41) そのため、民間企業のみでは開発リスクが大きく、かつ一企業体でそのような広範囲の知的資源を賄うのは容易なことではない。(『産業科学技術研究開発制度 最終評価報告書』経済産業省 2004年)
- 42) 単一の試験ですべてを賄うという行き方ではなくて、いろんな試験が用意されていく。それは妥当だと思います。(『日本語教育研究協議会 第3分科会報告』文化庁 2000年)
- 43) 今日の高度な科学技術の研究開発は、およそ一国ですべてを賄うことは困難であることから…… (『科学技術白書』文部科学省 2002年)
- 44) 断熱化・気密化により、隙間等からの自然換気のみでは、必要な換気量を賄うことができません。 (『健康的な学習環境を確保するために良好な空気環境を確保しましょう』文部科学省 2004年)

5. 2 意味記述

以上見たように「賄う」は、人間生活のあらゆる面で使われるようである。その意味をどのように記述したらよいか。

まず1)～5)、18)～34)によって、金銭、消費するものや材料の場合を考える。金銭・水・材料などは使用するものである。21) 23) 25) では賄うのは「需要」であり、需要そのものはもちろん使用するものでないが、この場合は需要の水・エネルギーなどを使用すると考えればよい。

例文から判断して、「賄う」の意味は、必要なものを使えるように用意し、それを使用しに充てることであると考えられる。先に26)～31) で見たように、金銭や水を使うのがそれを用意した本人である場合と、他の人である場合があり、それを考慮する必要がある。それらを踏まえて「賄う」の意味を次のように言うことができよう。「金銭や水など必要なものをまず使える状態に用意する。そうした上で、自分が使用する、あるいは他の人の使用に供する」ことである。この「使用に供する」は、自分自身の使用に供するということでも言えるから、次のように簡略に言うこともできる。「金銭や水など必要なものを使える状態に用意した上で使用に供する」。このように言えば、1)～5)、18)～34)、の例文すべてをこの意味で説明できる。

次に35)～37)の労働力・作業手段についてはどう考えるか。これについては他の人のためにそれを用意するという用法があるかどうかは不明であるが、それにかかわりなく、意味は次のように言うことができる。「労働力・作業手段など必要なものを使える(広い意味で)状態に用意した上で使用に供する」ことである。

38) 以下の場合どうか。38)の輸送については、用意した本人が使う場合と他の人の使用に供する場合と両方あるが、これも「輸送という必要なものを使える状態に用意した

上で使用に供する」ことであると、言うことができる。39) 40) 41) 42) も同様に、それら必要なものを用意して使用に供することとすることができる。43) の研究開発については、研究開発そのものは使用するものでないが、ここでは研究開発のための諸々の施設・知的資源・費用などを用意して使用に供するということである。44) は、その換気量分の空気を用意(補給)して使用に供するということである。

以上のことをまとめて、「賄う」の意味は次のように言うことができる。「必要なものを使える状態に用意した上で使用に供する」。このようにすると、上記の辞書の例文を含めて、1) ~44) をすべてこの意味で説明できる。

「賄う」の意味をこのように考えると、「賄う」の持っている「食事を調べて出す」という意味は、歴史的経緯を考慮外にして言えば、この意味の一部分であると見ることができると考えられる。また現代語に関する限り、「賄う」はすべてこの意味で説明できると考えられる。

6. 英・漢・朝辞典の記述

「賄う」について、日本語から外国語に訳す辞書ではどうなっているか、次に見る。英語・漢語・朝鮮語を取り上げる。

日英辞典の中から次のものを取り上げる。これは大型辞典である。特別な記号は置き換えて載せる。

『研究社新和英大辞典』第5版(研究社 2003年)・・・(ヌ)

1 [支弁する] pay; meet; cover; finance; fund (a project).

◇費用を～ pay [meet] expenses/国の財政を～ finance a government/学費 [医療費] を～ pay [meet] school fees [medical expenses] バイトで家賃の一部を～ cover a part of the rent through part-time work.

◇この給料では一家の生活をまかないきれない。With this salary I cannot fully cover a whole family's living expenses./彼女はその費用を自分の小遣いでまかっていた。She was paying for the costs of that with her own pocket money./作業服のクリーニング代は会社でまかなう。The cost of dry-cleaning work uniforms will be met by the company.

2 [食事を給する] board; give; [provide] board; cater (for sb); provide [supply, furnish] sb with food [meals]; feed. ◇50人分の昼食を～ provide lunch for fifty persons.

ここには「限られた物資・費用などで何とか間に合わせる」というような記述は載っていない。その点良い。ただし「食事を給する」以外に載っているのは「支弁する」であり、これは費用に関してだけである。これでは不正確である。例文もそれに従って、費用に関することだけが載っている。「賄う」はこれまで見たように、人間生活のあらゆる面で使

われるわけであり、それに相応した記述をすべきである。

日中辞典の中から次の2つを取り上げる。2つとも中型辞典である。どちらの辞書とも、漢語の部分に拼音字母の併記が載っているが、それは省略する。また両辞書とも大陸通用の“新字形”（簡体字）を使っているが、ここでは世界通用の旧字体に直して載せる。

『日中辞典』第2版（小学館 2002年）……（ル）

- 1（食事を）供給飯食。寮の食事を~/負責學生宿舍の供食。
- 2（用意する）供給、提供、供應。[工面する] 籌措。国家が奨学金を賄ってくれる/國家提供助學金。交通費は会社から賄われる/交通費由公司支付。
- 3（間に合わせる）維持。1000円で~/用一千圓維持。寄付で~/由捐款來支付。少ない費用で~/用少量費用維持。

『岩波日中辞典』第二版（岩波書店 2001年）……（ヲ）

大概のものは近所で~える 一般的東西在附近差不多都弄得到。50人分の昼食を~うのは大変だ 供應五十個人的午飯可不容易。月20万円では一家を~いきれない 一個月二十萬日圓維持不了一家的生活。会の運営費は寄付金で~う 本會經費由捐款來維持。

（ル）の2の“[工面する]籌措”は、「賄う」の意味からちょっと離れている。3の“間に合わせる”も違う。“間に合わせる”を載せたのは日本の国語辞典のいずれかを参考にしたのであろう。ただし例文の漢語訳はすべてこのくらいが妥当なところであろう。食事以外についての例文は金銭のみであるので、その点は不十分である。

（ヲ）は例文のみを挙げている。漢語訳は妥当なところであろう。また食事と金銭以外のことも載せてあるところが良い。

日韓辞典から次のものを取り上げる。これは中型辞典である。ハングルをローマ字に置き換えて書く。一字（一音節）ごとにまとめ、原文で続け書きのものはハイフンでつなぎ、原文で分かち書きの部分は間を置いて書く。それぞれに日本語訳を付け加える。煩雑になるので、意味の説明部分のみを載せ、例文は省略する。

『エッセンス日韓辞典』改訂増補版（民衆書林 1989年）……（ワ）

- ①ma-ryeon-hae gong-geub-ha-da（用意して供給する）; jo-dar-ha-da（調達する）
- ②bab-eur meog-ge hae ju-da（ご飯を食べられるようにする）; sig-sa-reur ma-ryeon-hae nae-da（食事を用意して出す）
- ③gyeong-bi-reur mat-a cheo-ri-ha-da（経費を引き受けて処理する）; ggu-ryeo ga-da（何とか処理する）

①の“用意して供給する”は良いが、“調達する”はちょっと違う。③の“経費を引き

受けて処理する” “何とか処理する” は違う。日本の国語辞典のいずれかを参考にして、このように載せたのであろう。

7. 終わりに

以上、「賄う」の意味について見た。国語辞典における説明の中には不適切なものがあることを指摘した。日本語から外国語に訳す辞書の中にも不適切な部分があることを述べた。「賄う」は人間生活のいろんな面で使われているが、その意味は、「必要なものを使える状態に用意した上で使用に供する」ことであると結論し、このようにすればすべての用例を説明できることを述べた。

辞書は学習のよりどころとなる重要なものである。執筆者に感謝をしつつ、一層の充実を願っている。

注記

ことばの意味について考察した著作として、『基礎日本語』1（森田良行 角川書店 1977年）、同2（1980年）、同3（1984年）、（後に合冊 1989年）、『ことばの意味 辞書に書いてないこと』1（柴田武・國廣哲彌・長嶋善郎・山田進 平凡社 1976）、同2（浅野百合子が加わる 1976年）、同3（1982年）があるが、ここでは「賄う」については述べられていない。日本語学習者のために説明や用例を載せてある、『外国人のための基本語用例辞典』第三版（文化庁 大蔵省印刷局 1990年）、『日本語基本動詞用法辞典』（大修館 1989年）にも出ていない。